

# 環境教育等優良事例集 (令和2年度版)

[優良事例集の選定にあたって]

道では、例年、「道内の環境保全活動、協働取組、環境教育等の取組事例」の実績について、各市町村等を通じて取りまとめを行ってきましたが、ある程度、事例の把握や蓄積が可能となったこと（平成30年度実績：513件）、また、市町村や民間などにおける取組と計画との推進状況の関連性も見えてきたことから、次のステップとして、環境保全活動、環境保全の意欲の増進、環境教育、協働取組の4つの区分から優良な事例を選定の上、取りまとめました。

本事例集が、北海道らしい環境教育を推進する一助として、また、各市町村や各学校あるいは各地域での環境教育現場における参考の一つとして活用いただければ幸いです。

本事例集を参考にしたい場合については、下記まで連絡願います。

問合せ先：北海道環境生活部環境局環境政策課企画調整係  
電話 011-204-5288  
メール kansei.kankyou1@pref.hokkaido.lg.jp



<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.1 環境出前講座

活動団体

岩見沢市

活動の概要

地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動である COOL CHOICE やごみの処理、リサイクルについて学ぶため、市環境部職員が小中学校や町内会の会館へ出向いて環境教室を実施。また、複数の小学校と映像中継を結んで遠隔学習を実施している。



本事例の優れているポイント

複数の小学校と中継で結んだ遠隔学習が行われている点。

実績・得られた効果等

平成30年度は、市内の小学校3校での出前講座及び、遠隔授業（参加校：3校）を実施し、岩見沢市のごみ処理の現状や正しい分別方法、地球温暖化防止などに関する啓発を計296名の児童に対して行った。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.2 衣類のくるくる市

### 活動団体

ごみと環境を考える市民の会、ごみのよりよい始末を進める市民会議（岩見沢市）

### 活動の概要

市民からまだ利用可能な衣類を受入し、その衣類を必要とする市民に持ち帰ってもらうことでごみの減量化を促進している。



### 本事例の優れているポイント

市民と行政の協働によりごみ減量化の取組を促進している点。

### 実績・得られた効果等

平成30年10月及び平成31年3月の2回の開催時には、合計で約1.2tの衣類の受け入れを行い、ごみの減量化につなげている。

また、会場にパネル展示や地球温暖化に関するブースを設け、来場者へ向けて環境保全等に関する普及啓発を行っている。

## No.3 地球温暖化防止活動普及大使養成講座

### 活動団体

國學院大學北海道短期大学部（滝川市市民生活部くらし支援課）

### 活動の概要

國學院大學北海道短期大学部で将来小学校教員を目指し、教職課程を履修する学生を「地球温暖化防止活動普及大使」として養成している。普及大使の養成には、専門的な知識が必要となるため、環境教育に長年携わる北海道環境財団に指導・助言を仰ぎ、普及大使を目指す学生には、地球温暖化問題や国民運動の背景等の基礎的な情報、民生・家庭部門における取組推進における考え方等、基盤的な知見や伝え方のノウハウなどを同財団が保有するオリジナルプログラムへの参加を通して学んでもらう。また、環境学習プログラムの企画・運営に係るノウハウも合わせて学び、将来教員として子ども達へ環境学習を行う際にも活用できる知識と技術の習得を目指している。



### 本事例の優れているポイント

普及大使となる学生には、地球温暖化問題や国民運動「COOL CHOICE」の背景等の基礎的な情報、民生・家庭部門における温暖化対策の取組推進における考え方等、基盤的な知見や伝え方のノウハウなどを学んでもらっており、今後の活動に期待が持てる点。

### 実績・得られた効果等

「地球温暖化普及大使」には平成 30 年度、6人が認定（環境学習リーダーと重複）されており、若き環境教育のリーダーとして活躍している。

## No.4 保育所並びに小学校での『「COOL CHOICE」と「地球温暖化防止教育」』の実施

### 活動団体

滝川市市民生活部くらし支援課

### 活動の概要

環境教育に力を入れている市内保育所・小学校等を対象に、短大生が「地球温暖化防止活動普及大使」として、「COOL CHOICE」や「地球温暖化の現状と防止対策」について授業を行い、子ども達が地球温暖化の現状に興味・関心を持つきっかけづくりとしている。



### 本事例の優れているポイント

環境学習を行える人材育成を目的に短大生が子どもたちに環境教育を行うことで、次世代の「普及大使」の育成につながるるとともに、異年齢交流を推進し、地域における環境コミュニティの創造・拡大を図っている点。

### 実績・得られた効果等

環境省の補助事業を活用し 2030 年度まで日本政府が進める国民運動「COOL CHOICE（＝賢い選択）」と市民運動「エコたき（いつでも、どこでも、だれでも、無理なくできる環境保全活動「エコライフたきかわ」の略称）」をキーワードにした「COOL CHOICE でエコたき」を柱とした普及啓発事業を行い、市民や事業者に省エネルギーやゴミ削減を主とした CO2 削減活動を周知している。

今後も、地球温暖化防止の普及啓発事業を継続して行うほか、ホームページや新聞などを通して、年々深刻化する地球温暖化の現状を知ってもらい、市民が温暖化防止に向けて、自ら考え・行動できるような呼びかけを行う。

## No.5 環境学習リーダー養成講座

### 活動団体

北海道滝川高等学校（滝川市市民生活部くらし支援課）

### 活動の概要

文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール（科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度）に認定されている北海道滝川高等学校理数科1年生全員が、北海道環境財団が実施する専門的な環境講座を受講。その後、高校生が先生役となり、市内で地球環境について学べる施設「こども科学館」に市内の保育所幼児を招き、ゲームや紙芝居、人形劇をとおして、地球温暖化の現状と防止策を伝える環境教育を実施している。地球温暖化や環境保全に関する講座受講や子ども達へ教えるという活動をとおして、高校生自身も普段の生活を振り返り、人と地球にやさしい行動ができる人材になることを目的として実施している。



### 本事例の優れているポイント

高校生が自身の学びを基に教育活動を実施することを通じて子ども達へ一方的に「教える」のではなく、様々な方法を活用しながら、「気づき」を引き出し、「行動」を起こすきっかけを作るリーダーを養成している点。

### 実績・得られた効果等

「環境学習リーダー」には平成18年度創設以降、これまで279人が認定されており、若き環境教育のリーダーとして活躍している。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.6 「Cool Choice でエコたき」 ポスターコンテスト

### 活動団体

滝川市市民生活部くらし支援課

### 活動の概要

中学生・高校生を対象に「地球温暖化防止」をテーマにしたポスターコンテストを実施。それぞれの部門の最優秀者のデザインをポスター（ステッカー）に加工し、市内を走るバス（市内線20台）に掲出し、市民への啓発活動の一助としている。



### 本事例の優れているポイント

①中高生の意識の向上、②バス会社のメリット（公共交通機関利用の呼びかけ）、③市民への啓発活動（中高生が作成したことで心に響く）といった相乗効果により、地球温暖化防止に関する意識の醸成を図っている点。

### 実績・得られた効果等

若年層が「地球温暖化防止」について興味を持ち、地球温暖化防止活動の方法を自ら学びきっかけづくりとなった。

優秀者のポスターはステッカーに加工し、市内を走るバスに掲出したことで地球温暖化防止の啓発となった。

また、全作品を市立図書館に展示し、公共交通機関利用によるCO2排出抑制を来館者へ周知した。



## No.7 アズマヒキガエル駆除など外来生物対策事業

### 活動団体

深川ひきがえるバスターズ

### 活動の概要

深川市内の水辺等で急増し、これ以上生息域を拡大させないことが緊急の課題となっている道指定外来種アズマヒキガエルと特定外来生物アライグマに対して、地域からの排除を最終目的にした駆除活動を、地域内連携（市・関係組織・地域住民）で取り組んでいる。



### 本事例の優れているポイント

在来種の保全のため、地域内連携により市民を大きく巻き込み、外来生物の駆除を行っている点。

### 実績・得られた効果等

地域内連携による駆除活動を続けた結果、市内公園のアズマヒキガエルの大量発生を収束することができた。

また、「深川ひきがえるバスターズ」は、地元自治会や、ため池を所有する農業者、環境活動に興味のあるボランティアなど、地域住民が、自分たちの周りの環境を自ら守るための活動の受け皿ともなっている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.8 ハサンベツ里山作業日 ハサンベツ里山市民工事

### 活動団体

栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会、NPO法人雨煙別学校、栗山町民、NPO法人 ezorock、栗山町

### 活動の概要

2001 年から栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会が主体となり栗山町ハサンベツ里山地区の環境保全及び環境教育フィールドの整備を実施している。



### 本事例の優れているポイント

さまざまな団体が 20 年にわたり里山の復元に取り組むとともに、環境教育のフィールドとして整備している点。

### 実績・得られた効果等

ハサンベツ里山づくりとして、河川を改修し田畑を造成したことで、水辺など様々な環境が整い、それに伴い多くの生物が見られるようになった。

子どもたちへの環境教育に加え、環境保全活動を町全体で行うことで、世代間・地域間交流にもなり、若者を含めた継続的な環境保全活動が可能となっている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.9 地域に愛される環境教育の実践

### 活動団体

北海道農業専門学校

### 活動の概要

- ・BDF(スーパー等で回収した使用済天ぷら油を原料に精製されるディーゼルエンジン用燃料)燃料を学校で使用する農業機械の燃料として利用
- ・廃食油を回収し、廃食油石鹸製造や堆肥化促進の実験を実施
- ・農場内の剪定木による薪製造・販売等によるCO<sub>2</sub>削減
- ・ラウネナイ川清掃 など



### 本事例の優れているポイント

スーパー等に設置した廃食油の回収など地域に根ざした環境保全を実践しているとともに、学校内で製造した薪の販売を行うなど、経済活動も行っている点。

### 実績・得られた効果等

BDF燃料の使用によってCO<sub>2</sub>の削減が図られた。

以前は廃棄していた剪定木だが、薪にして販売することで処理費用を抑える事が出来た。

町内会会員を集めての廃食油活用講習会、また、雪堆積場でのひまわり栽培、ラウネナイ川清掃などの環境美化に取り組むことで、地域住民との親交を深める事が出来た。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.10 植樹活動及び先進トラック普及

### 活動団体

(公社)北海道トラック協会

### 活動の概要

森林保護育成を図ることで地球温暖化の大きな要因となる CO2 の削減に寄与することを目的として平成 16 年度から全道規模で植樹活動を実施している。令和元年度までに約 1 万本のエゾヤマザクラなどを植樹。

また、環境問題への取り組みとして、国土交通省の「自動車環境総合改善対策費補助金」と(公社)全日本トラック協会との協調により、会員事業者への先進環境トラックの導入促進を図っている。



### 本事例の優れているポイント

北海道トラック協会として、全道域で地球温暖化対策に取り組んでおり、会員に対する環境配慮行動の意識付けと地球温暖化対策につながっている点。

### 実績・得られた効果等

国土技術政策総合研究所の CO2 固定量算定式で試算した場合、当該植樹事業による二酸化炭素の削減量は 144,000 kg/年と試算。

また、これまで、天然ガストラック 399 台・ハイブリッドトラック 311 台の導入実績があり、排出する CO2 の低減により地球温暖化対策に大きく寄与している。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.11 グリーン経営認証制度普及

活動団体

(公社)北海道トラック協会

活動の概要

(公財)交通エコロジー・モビリティ財団が行っている、環境保全を目的にした取り組みを行っている運輸事業者を認定する「グリーン経営認証制度」を普及促進するため、事業者の環境対応車両の新規・更新申請費用の一部を助成。



本事例の優れているポイント

トラック輸送産業は、ディーゼル車から排出されるCO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>（窒素酸化物）、PM（粒子状物質）など、常に地球温暖化や大気汚染の原因物質として、その対策が急がれている中、業界をまとめる当該団体が、率先して環境保全に向け率先して行動している点。

実績・得られた効果等

本事業は、中小規模の事業者でも環境改善に向けた取組みの目標設定とその評価が容易で、自主的で継続的な環境保全活動を行うことが可能であり、事業者の環境改善の努力を客観的に証明し公表することにより、環境改善に向けた取組み意欲が向上し、運輸業界における環境負荷の低減につなげていくための制度。

認証トラック事業者の取得2年後の平均燃費は、車両総重量8トン以上のトラックの場合で認証取得時と比較して3.2%向上、認証取得後1年目の走行距離あたりの交通事故件数は前年比で24.7%減少・車両故障件数は前年比で18.9%減少している。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.12 児童会館、小学校、イベント会場で 地域団体と協働した、オリジナルのゲームを 通じた環境教育

活動団体

公益社団法人 札幌消費者協会

活動の概要

学生と協働でオリジナルの環境カルタを作成すると共に、地域に対応したごみの分別ゲームやすごろくを作成。これらを活用して、子どもにもわかりやすい環境教育の場を提供し、生活の中での3R（リデュース、リユース、リサイクル）や省エネについての理解・実践を促進。



ごみの分別ゲーム



人間すごろく

本事例の優れているポイント

学生と協働し、子どもにとって楽しめる内容で環境教育を行っている点。

実績・得られた効果等

カルタやすごろくなど、子どもが親しみやすいツールを使用するため、直ぐに取り組む事ができ、ライフスタイルの見直しに繋がる。その後の学校の授業で、子どもたちが環境に関して興味のあること、目標とすることなどをテーマに、オリジナルの環境かるたやすごろくを作成した小学校があった。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.13 北海道グリーン購入ネットワーク

活動団体

札幌市、道内各地

活動の概要

市民・道民の環境配慮意識を高め、持続可能な循環型社会形成など市民を巻き込んだ行動によって地球環境の保全をより強力に推進するためのイベント「Greener Week」を実施し、多くの団体と連携を図り多彩なプログラムを展開することで、参加した多くの方が様々な環境負荷低減活動やグリーン購入（環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入すること）の意義などの理解を深め、環境意識を高めるとともに、未来に続く北海道のためにできる事を考える象徴的な期間となることを目指している。

主に、・SDGs（持続可能な開発目標）の学習

・植林体験を通してカーボンオフセット（二酸化炭素などの温室効果ガスについて、削減が困難な部分の排出量について、クレジットを購入することで、その全部又は一部を埋め合わせすること）の紹介

・買い物体験を通じたグリーン購入への学習を行っている



本事例の優れているポイント

市民を巻き込み、大きなウエーブを起こそうとしている試みが魅力である点。

実績・得られた効果等

参加した多くの市民が様々な環境負荷低減活動やグリーン購入の意義などの理解を深め、環境意識をさらに高めるとともに、未来に続く北海道のためにできる事を考え、持続可能な社会をつくるとする目標を共有できた。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.14 ごみ分別アプリ

活動団体

札幌市

活動の概要

スマートフォン等の端末を通し、若い世代や単身者など、スマートフォンを持つあらゆる世代に、ごみ分別・排出ルールのより一層の周知を図るとともに、ごみの減量や資源の有効利用への関心を高めることを目的にごみ分別アプリを作成。



本事例の優れているポイント

スマートフォン等の端末を通して、あらゆる世代に周知を図っている点。

実績・得られた効果等

ごみの排出方法の確認等に利用されており、平成26年3月17日から配信し、令和2年8月末現在のダウンロード数は127,933件となっている。



<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.15 出前講座「次世代につなぐ環境首都 SAPPOROビジョン～「持続可能な開発目標 (SDGs)って何だろう？」

### 活動団体

札幌市

### 活動の概要

札幌市では、「環境都市・SAPPORO」を2050年に向けた札幌の環境の将来像として設定しており、市民の皆様へ環境への配慮の呼びかけを積極的に行っている。

本出前講座では、持続可能な開発目標（SDGs）とは何か、環境の視点から社会、経済とのつながりについてわかりやすく解説している。



### 本事例の優れているポイント

SDGsの達成のためには、行政だけではなく、市民、企業、団体などの皆さんの行動も重要であることから、取組のきっかけづくりとして、行政が旗振り役となり、地域に出向いて講座を開設している点。

### 実績・得られた効果等

当時、まだ認知度が低かったSDGsについて、その理念や環境・経済・社会問題の統合的解決など、SDGs達成に向けた考え方や札幌市の取組について、市民や事業者の理解を深め、行動の促進につなげることができた。

## No.16 小学校ヒグマ講座及び一般向け出前講座

### 石山地区豊平川河畔林下草刈り

活動団体

札幌市

活動の概要

札幌市民に対し、ヒグマの生態やヒグマとの共生について、トランクキット（手軽にヒグマの実物標本・資料に触れられるパッケージ型の資料）やスライドを用いてわかりやすく説明している。

また、ヒグマの侵入経路を分断するため、石山地区の住民、酪農学園大学の学生らを中心に、石山大橋付近の河畔林の下草を刈るとともに、参加した地域の方を対象として、大学生にヒグマ研究の成果を発表してもらっている。



本事例の優れているポイント

近年、ヒグマの出没は農村部のみならず都市部でも頻繁に見られるようになり、札幌市民に対するヒグマの生態系に関する啓発事業は大変重要であり、難しい問題にしっかり取り組んでいる点。

実績・得られた効果等

毛皮に触れたりフンの標本の臭いをかいだりすることで、子どもたちにヒグマが身近な存在であることを理解してもらっている。また、ヒグマとの遭遇を避けるための知識を身につけることで、ヒグマによる事故の防止につながっている。

また、石山大橋付近におけるヒグマの出没がなくなり、地域の方々の間にもヒグマとの共生に関する理解が深まった。また、石山地区の夏のイベントの一つとして定着してきており、地域の活性化にも寄与しているものと考えている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.17 円山動物園教育推進事業

活動団体

札幌市

活動の概要

太陽光や風力発電などの新エネルギーを積極的に導入し、市民が新エネルギーを見て触れて理解できる施設として、動物園が次世代エネルギーパークとして認定されているが、それらに関する情報発信や学習プログラムの提供を園内外で行うことで、環境保全の重要性に関する市民の理解を推進している。



本事例の優れているポイント

動物園の持つ資産を最大限活用することで、環境保全に関する意識を高める取り組みであり、多くの世代が楽しみながら学べる内容となっている点。

実績・得られた効果等

平成30年度の総合学習の受入件数及び実施人数が250件7,377名という結果であったことから、多くの人々に対して環境保全について考えてもらい、意識を高めてもらえることにつながられた。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.18 豊平川における野生サケの優先的保全活動

活動団体

札幌市

活動の概要

市民団体「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」と連携して先住民族アイヌの伝統や、市民による「カムバックサーモン運動」の精神を尊重しつつ、この地域の生物多様性を重んじ、科学的知見に基づく「順応的管理（サケの遡上数をモニタリングし、遡上数に合わせて放流数を管理する管理方法）」の手法を豊平川のさけふ化放流事業に導入しているほか、豊平川に放流するさけ稚魚に標識をつけ、親ざけ遡上時に標識の有無を調べる調査を行い、野生魚と放流魚の割合を継続的にモニタリング・情報公開することにより、野生さけ保全の推進につなげている。



優良事例のポイント

科学的知見に基づく順応的管理によって、野生サケの保全を図っており、その取り組みを閉じることなく、市民講座や情報公開している点。

実績・得られた効果等

平成30年度は、豊平川に1,232尾のサケが遡上し、十分な自然産卵が確保されたことから放流魚を約20万尾から約8万尾に減らした。稚魚調査より約13.5万尾の野生魚が降海していた。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.19 さっぽろ学校給食フードリサイクル

活動団体

札幌市

活動の概要

学校給食の調理くずや食べ残しを利用した堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れるという食物の循環の取組を実施。また、小中学校の「フードリサイクル堆肥活用校」で堆肥を活用した栽培活動等に取り組んでいる。児童生徒がこの取組を通じ、フードリサイクルの目的や地産地消、食べ物や物の大切さなどについて学んでいる。

また、当該事業に係る関係部局、団体が共通理解を図り円滑な取組を行うことを目的とし「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議を年2回開催。



本事例の優れているポイント

学校給食の調理くずや給食残さを堆肥にするだけでなく、堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れるという食物の循環の取組を実施し、循環型社会に関する教育的活動を提供している。この取り組みにより、子供たちがフードリサイクルに様々な場面で関わることができ、食育がなされていること。

実績・得られた効果等

フードリサイクルを活用し給食時間や教科等で食育・環境教育を進めたところ、フードリサイクル開始時より給食の残量が減少している。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>

令和2年度 環境教育等優良事例

## No.20 西区環境まちづくり協議会支援

活動団体

札幌市

活動の概要

主に西区環境まちづくり協議会が実施する児童向け環境活動の指導スタッフとなる「西区環境教育リーダー」を養成するための講習会を実施。

内容は水に関する教育プログラム「プロジェクトWET（教育活動を通じて、水や水資源に対する認識・知識・理解を深め、責任感を促すことを目標として開発された「水」に関する教育プログラム）」の講習の他、実技研修、安全管理に関する講習等を行うことで、環境教育を志す参加者にとってキャリアアップに繋げている。



本事例の優れているポイント

アメリカ発祥の体験型の水教育プログラムである「プロジェクトWET」を積極的に取り入れ、市民の自主的な環境活動を支援している点。

実績・得られた効果等

受講修了者を「西区環境教育リーダー」に認定。認定された方は、講習で得た知識や経験を「エコキッズ・プログラム」や「コドモ自然学校」などの協議会が実施する児童向け環境関連事業で生かしている。

## No.21 西岡さかな組

### 活動団体

札幌市

### 活動の概要

水資源豊かな西岡公園において、その豊かさの指標となる水生生物の調査を行う事業。札幌市近郊の小学生を対象に参加者を募り活動している。指導者は、市内大学在籍研究者、ボランティアスタッフ、公園スタッフからなる。春～秋は水生生物の分布調査を行い、冬に調査結果をまとめた報告展を実施している。



### 本事例の優れているポイント

夏季の野外調査～冬季の研究・報告により、野外での体験活動にとどまらず、調査員それぞれの研究内容を広く市民に報告できる活動になっている点。

### 実績・得られた効果等

2009年から活動を継続し、札幌市内での報告展を実施してきたことで、西岡公園の水環境の豊かさを発信してきた。また、調査員として活動できるのは小学6年生までであるが、卒業後もボランティアスタッフとして中学生～大学生の間活動のサポートにあたり、その後、生物分野を進路として選択している卒業生も輩出している。

そのほか、西岡公園の施設改修工事や園内ガイド等でも生物相の分布調査結果を参考にしている。

## No.22 「知る・見る・カニさん、ザリガニさん」

### 活動団体

(公財)札幌市公園緑化協会

### 活動の概要

豊平川に生息するカニや「日本の侵略的外来種ワースト 100」にも選出されているアメリカザリガニについて、親子を対象とした勉強会を開催している。



### 本事例の優れているポイント

普段、子どもが学ぶ機会が少ない、自分の居住する地域の河川環境や、どのような生き物が生息するかなどを学べる機会がないため貴重な時間であるとともに、外来種などを知る良い機会となっていること。

### 実績・得られた効果等

札幌の川に生息している在来種の「モクズガニ」の生態と、近年札幌市内に定着してきている外来種の「アメリカザリガニ」が、どのような場所に生息し、何が問題かをさわりながら学び、外来種問題について考える機会を提供している。また、アメリカザリガニだけでなく、ミドリガメ等の外来種のペットの飼育について、親子で考える姿も見られ、身近にいる外来種について深く考える機会を提供する事ができている。



<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.23 わが家の節電コンテスト

### 活動団体

苫小牧市

### 活動の概要

参加世帯の前年同期間の電気使用量と比較し、削減量又は削減率が大きい上位世帯を表彰している。

### 本事例の優れているポイント

家庭単位で参加できる取組であり、表彰制度を設けることで環境配慮意識を一層高めているとともに削減量だけではなく削減率における表彰も行うため、普段から電気使用量が多い世帯だけでなく、使用量の少ない世帯にも入賞のチャンスがある点。

### 実績・得られた効果等

平成30年度は、8月・11月、2か月間の電気使用量を前年度と比較した。  
参加世帯全体（29世帯）の平均として、1世帯あたり85.5kWhの削減となり、削減率は9.21%に達した。

## No.24 小中学校環境教育プログラム事業

### 活動団体

苫小牧市教育委員会

### 活動の概要

子どもの時期から省エネ型の生活習慣を身に付けさせ、地球環境問題への意識を高め、環境保全活動に対する子どもの自主性を引き出すことを目的とし、市内39校の小中学校を対象として節電ウィークなど環境教育プログラムを実施。

学校ごとに省エネ目標を定め、独自の省エネ活動を検討し取り組んでいる。



### 本事例の優れているポイント

市内全域の小中学校で共通した環境保全活動の取組を行っている点。

### 実績・得られた効果等

平成23年度から継続して活動を行い、各校において省エネ活動が深く根付いており、節電・節水、牛乳パックのリサイクル等の各活動が「当たり前」な活動として、学校生活に定着している。

学校の教育活動全体で励行することで、学校の日常生活において持続可能な活動となり、児童生徒が環境保全活動に主体的に取り組むことができるようになった。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.25 夏の海塾その他

### 活動団体

白老町環境町民会議

### 活動の概要

- ①夏休み期間中、小学生を対象にヨコスト海岸でごみ拾いを通じた漂着物調査や、周辺の生物、植物等についてフィールドワーク教室を開催。
- ②環境全般に関する知識や理解を深めることを目的に、全町民を対象に環境セミナーを開催。
- ③海岸の見回りや、ボランティア清掃活動の実施。(H29 に国交省より道内初の海岸協力団体に指定された。)



### 本事例の優れているポイント

H20年から活動しており、子どもから大人まで幅広い層に環境保全意識が根付いており、その結果として、道内初の国交省海岸協力団体にもなっている点。

### 実績・得られた効果等

子ども達の日常生活にある自然素材をとおして、環境教育を続けてきた中で、子ども達の環境配慮意識の変化は顕著に現れ、また小学校では、海岸清掃活動が広がってきている。当町においては、アイヌの歴史・文化を伝承する活動も続けられ、野鳥紹介ではアイヌ語から由来をひもといたり、植物で装飾品や薬用として利用されていたことなどを学び、自然の仕組みと現在の環境を知る機会を得ている。令和2年7月12日には、国立アイヌ民族博物館が開設され、アイヌの歴史と文化から環境素材を学べる他に無い活動となっている。

## No.26 ユーラップ川自然体験学習会

### 活動団体

八雲町教育委員会

### 活動の概要

四季それぞれのユーラップの自然を観察し、体感することで、郷土の良さに気づき、また郷土の自然を学習することで、環境問題について考えることのできる町民の育成を図っている。

特に、秋には、ユーラップ川をのぼる鮭を観察し、水中カメラで鮭の様子を見るなど、約物の自然を肌で感じる取り組みを提供している。



### 本事例の優れているポイント

NPO・地域団体等が連携して長く事業に取り組んでおり、子どもから大人まで幅広い層に環境保全意識が根付いている点。

### 実績・得られた効果等

子どもたちを中心に、八雲町に飛来してくるオオワシ・オジロワシやユーラップ川に帰ってくる鮭の魅力や、自然を観察することをおして、生態系について学び、知識を得るとともに郷土の魅力を伝え、命の大切さや環境問題について考えることができる機会となっている。

また、直接的な体験の機会や野外での活動が減少しつつある子どもにとって、身近なフィールドでの学習機会としても重要な役割を担っている。

## No.27 あさひかわ白樺樹液まつり

### 活動団体

NPO法人癒しの森づくり

### 活動の概要

北国のシンボルツリー白樺をテーマに雪国ならではの特性を活かしたイベントの主催。  
1年に4月の3週間しか採取することが出来ないミネラル分を多く含んだほんのり甘い  
白樺樹液の試飲や製品の販売を通して、旭川の自然を知り、楽しみ親しんでもらっている。



### 本事例の優れているポイント

白樺樹液を使った製品を販売するという経済活動と連動することにより、市民に自然の恵みを感じてもらおうきっかけづくりとしている点。

### 実績・得られた効果等

- 白樺樹液まつりを通して身近な自然を楽しんでもらうことにより、自然に興味をもってもらえたり自然の大切さを知るきっかけとなっている。
- 道外からの来場者も年々増え、旭川の自然に関心を持ってもらえることも多くなってきており、観光への効果にも少しずつ繋がってきている。

## No.28 異業種の機能連携による廃棄物の 地域内循環利用

### 活動団体

(株) アンビエンテ丸大 (旭川市)

### 活動の概要

廃棄物（バーク（樹木の皮）と鶏ふん）を利用し、良質な堆肥を製造。

この堆肥を使用して近隣農家が栽培したトマトでアンビエンテ丸大がジュースを製造・販売し、廃棄物の地域内循環活用に取り組んでいる。

また、市内の食品加工会社や近隣農家とも連携を図り、食品残さを活用した堆肥製造も行っている。



### 本事例の優れているポイント

鶏ふん等の廃棄物だけでなく、食品残さを活用した堆肥の製造、堆肥を利用した製品（トマトジュース）の製造・販売などにも取り組むとともに、近隣農家や食品加工業者等の連携により、廃棄物の地域内循環・活用に貢献している。

### 実績・得られた効果等

企業同士の繋がりで堆肥製造の母材であるバークの販売、畜産業に家畜の寝床になるおが屑の販売と事業の拡大を実現した。

また、提供だけではなく堆肥の販売先から花、果樹、野菜の購入をグループ会社を交えた形で行い関係性を深めることが出来た。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.29 東川町大雪山愛護少年団による環境保全・ 自然体験活動

### 活動団体

東川町大雪山国立公園保護協会・東川中学校

### 活動の概要

S43年に中学生を対象とした少年団を結成し、天人峡クリーンウォーク（ごみ拾い・登山）、山の祭り参加、旭岳登山道整備、旭岳清掃登山等を行っている。指導には教員、山岳愛好家、町の関係者が従事している



### 本事例の優れているポイント

大雪山をフィールドに地域が一体となった協働取組を長く継続している点。

### 実績・得られた効果等

活動を通して郷土の自然の魅力、大切さを知ると同時に、自然破壊や野生生物の減少等直面している問題にも目を向け、地元中学生の自然保護の意識と健康な身体が育まれている。

結成以来の自然愛護の地道な活動が評価され、平成30年には東川町無形民俗文化財に指定された。

## No.30 森林環境教育

活動団体

下川町

活動の概要

幼児期から高校まで一貫したカリキュラム（庁内における自然体験や林業体験など）で、未来を担う子どもたちに、生まれ育った地域の特性や産業のしくみを学ぶ場を提供している。

### ◆主な森林環境教育プログラム

- ・ 森の散策、森の遊び ・ 町有林における枝打ち、間伐体験
- ・ 炭焼き、マイ箸づくり、精油の蒸留体験
- ・ 町内林業施設の見学



本事例の優れているポイント

豊富な森林資源を活用した環境モデル都市として国から選定されている下川町ならではの取組であり、幼児期から高校まで一貫したカリキュラムがあること。

実績・得られた効果等

幼児期から高校までの15年間の一連の流れを通じて、地域の森林の価値を多面的に捉えた上で、持続可能な社会づくりに向けて自らの考えをまとめ、表現できるようにしている。具体的な効果は下記のとおり。

- ・ 認定こども園「こどものもり」：草花や昆虫に触れ、観察することで、命の不思議さを感じ、生命があることを知り、簡単に取ったり潰したりしなくなった。
- ・ 下川小学校：授業で取り組んだ地域の宝物探しでは、地域の宝物を「森林」と呼ぶ子どもが多かった。
- ・ 下川中学校：SDGsの授業において、関心のあるGoalを班ごとに選択してもらった際に、すべての班が森林に関係するGoal15の「陸の豊かさも守ろう」を選んでいた。
- ・ 下川商業高校：地域の大人の知識に触れることで、豊富な環境保全に係る方策に触れることができ、以前よりも多角的に物事を捉えることができるようになった。地域の方々と協働して課題解決に取り組むことができている。



## No.31 よみがえれ！どんぐりの森づくり (国立公園内のミズナラ植樹活動)

### 活動団体

稚咲内砂丘林再生検討委員会（環境省・北海道・豊富町・稚咲内町内会・認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク）＋豊富高校ボランティア部など

### 活動の概要

国立公園の特別保護地区内で行われている住民・NPO・行政協働による全国的にも珍しい森林の再生プロジェクト。かつての人間活動や永年の風雪により失われた3haのミズナラ林の再生を目指し、子どもからお年寄りまで一緒に現地産どんぐりから苗木を育て、毎年植樹している。これまでに3,000本以上の苗木を植樹している。



### 本事例の優れているポイント

- ・住民・NPO・行政が協働した森林再生プログラムで、国立公園の特別保護地区内で行われている活動としては全国的にも珍しいとされているほか、関わっている年齢層も非常に幅広く、生涯学習の観点からも興味深い。また、子どもから高齢者までが一緒に現地産どんぐりから苗木を育て、毎年植樹し、これまでに3,000本以上の苗木を植樹しているなど協働取り組みとしての幅が広い。

### 実績・得られた効果等

国立公園内での自然再生活動としては全国的にも例がなく、日々、試行錯誤を繰り返しながら活動している。五十年、百年後の豊かな森林を見据えた地道な息の長い取り組みで、何よりも地域の理解と協力が重要と考えている。

まだ見ぬ未来の森を立派に育て上げるため、活動に大きな理解を得ながら、地元の稚咲内地区や豊富町、近隣の稚内だけでなく北海道、ひいては、全国にまで活動の輪が広がっていけばと願っている。

## No.32 生ごみの無料引き取り 生ごみ処理器の購入助成

### 活動団体

更別村環境美化推進協議会

### 活動の概要

ごみの減量化・再資源化への取組として、生ごみの無料引き取りと生ごみ処理器の購入助成を実施している。

○生ごみの無料引き取り

- ・全村民を対象にリサイクルセンターで生ごみの無料引き取りを実施。
- ・引き取った生ごみを処理器にて堆肥を製造し、1袋(15kg)200円で販売。

○生ごみ処理器の購入助成

- ・全村民を対象に、処理器1個につき3,000円を助成。



### 本事例の優れているポイント

全村民を対象に、「生ゴミの無料引き取り」、「処理器購入助成」を行う分かりやすい施策でゴミの減量、再資源化(堆肥の製造販売まで含めて)などの環境対策に取り組んでいる点。

### 実績・得られた効果等

・家庭から排出される生ごみを堆肥化することにより、ごみの量を減少させることができています。

※生ごみの無料引き取り量：令和元年度 47,099kg、平成30年度 52,303kg

※生ごみ処理器の助成数：令和元年度8件、平成30年度8件

## No.33 更別農業高校生との交流による 花壇の苗植え

### 活動団体

末広学級（更別村）

### 活動の概要

北海道更別農業高校生と村の高齢者学級である「末広学級」の生徒との世代間交流による共同作業で、運動広場にある花壇へ花の苗を植え、環境美化に取り組んでいる。



### 本事例の優れているポイント

主体が高齢者で、そこに高校生という若い世代が加わり、異世代間の交流をしながら環境保全・美化活動を進めていることは、生涯学習の面から興味深い。今後、これを土台に活動がより日常化され、双方が知恵を出し合ってより深く広い活動を展開していくことが期待される。

### 実績・得られた効果等

- ・ 花壇に花植えを実施したことにより、環境美化活動として潤いと安らぎのある景観づくりができた。
- ・ 末広学級生と更別農業高校生とのコミュニケーション・世代交流を通して相互理解を深めることができた。
- ・ ボランティア活動（花植え作業）により、地域の一員として社会参画意識が高めることができた。

## No.34 タンチョウ越冬分布調査 タンチョウ冬の採食地環境整備活動

### 活動団体

JAL

### 活動の概要

北海道の鳥に指定されているタンチョウの生息数と分布調査を調べるタンチョウ越冬分布調査を実施（道との包括連携協定事業）している。

冬期に給餌に頼らず自然の中でタンチョウが餌を取れる環境（冬期自然採食地）を維持するため、タンチョウが地上をスムーズに移動できるよう、水路を覆う倒木の除去や移動の妨げとなる樹木の伐採、ササ刈り等を実施（日本野鳥の会との協働事業）している。



### 本事例の優れているポイント

企業との関連性の深い動物に焦点を当て、うまく行政や保護団体と協働を進めている点。

### 実績・得られた効果等

タンチョウ越冬分布調査への参加により調査精度が向上したほか、自然採食のための餌場の環境が整備されたことにより越冬地の分散化が推進された。タンチョウと地域の共生のための、自然環境・社会環境づくりに先導的に取り組んでいる。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.35 特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保護 および普及啓発活動

### 活動団体

阿寒湖のマリモ保全推進委員会

### 活動の概要

国の特別天然記念物であり、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に分類されている「阿寒湖のマリモ」について、①現存するマリモ群生地での保護活動や、②過去に消失したマリモ群生地の復元再生活動をはじめとした様々な取組を、官民 25 団体が地域住民と連携して実施。



### 本事例の優れているポイント

阿寒湖のマリモファンは非常に多く、調査に参加した市民の数は多くなっている一方で、観光目的での観察との調整が難しいという面も併せ持っている中、官民 25 団体が連携・協働した取組は他の模範となる点。

### 実績・得られた効果等

マリモの保全・再生に向けて、地域の幅広い団体及び住民との協働の輪の広がり、特に次世代を担う子どもたちを対象とした普及啓発の推進が図られた。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.36 学校版厚岸町環境マネジメントシステム

活動団体

厚岸町教育委員会

活動の概要

町内全ての小中学校7校がPDCA（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）サイクルの考え方にに基づき、環境の継続的な改善及び汚染の未然防止に取り組む学校版厚岸町マネジメントシステムを実践しており、H30年度は全7校が認定されている。



本事例の優れているポイント

環境マネジメントシステムを小中学校の段階で取り入れているのは全国的にも珍しく先進的。

実績・得られた効果等

自然環境を守るために、自分たちの生活で取り組むことができる事項について日常的に実践を続けることで、環境保全に対する意識の高まりと理解の深まりがみられている。また、学校生活だけではなく、家庭生活でも実践意欲が高まる効果もある。

合同クリーン作戦では、小中学校の児童生徒が交流する機会となっており、学校間連携の一助となっている。

## No.37 くっしゃろ講座

### 活動団体

チームくっしゃろ

### 活動の概要

屈斜路湖を取り巻く様々な環境問題をテーマに掲げ、テーマに関連する専門家を招くとともに、地元で受け継がれてきたアイヌ文化を加味することにこだわった講演会や勉強会、体験型イベントを町民や屈斜路湖を訪れた観光客に対し、継続的に実施している。

「シマフクロウ」、「ヒグマ」、「特定外来生物（ウチダザリガニ駆除活動を含む）」、「魚類について（魚釣り体験を含む）」、「和琴半島散策」、「希少猛禽類」などについて不定期ながら継続的に講演会等を実施している。



### 本事例の優れているポイント

地域の専門家と共に学び、体験型イベントを実施するのみでなく、アイヌ文化という地域性も加味している点。

### 実績・得られた効果等

地元でもあまりなじみのない地域性豊かなアイヌ文化を、単に話を聞くだけでなく体験することも通して実感できるようにしている。参加にあたっては年齢を限定していないため、親子や世代をまたいだ参加も多く、「家に帰ってからも話し合った」というような声を多くいただいている。そして改めて、屈斜路湖を取り巻く自然環境のすばらしさと、それを維持していくことの大切さを、少しずつながら伝えていけている手ごたえを得ている。

## No.38 ローソン緑の募金事業

### 活動団体

てしかが自然学校

### 活動の概要

ローソングループでは、地球に生きるすべての生きものにとってかけがえのない財産である森林を将来に残すため、1992年から「ローソン緑の募金」活動を実施しており、全国で森林整備を行っている。

てしかが自然学校では、平成30年10月に緑の募金を活用し、森づくりと森のランニング会を開催し、環境保護とスポーツ振興の両方に寄与している。



### 本事例の優れているポイント

企業とのタイアップ事業として、環境保全活動という観点で winwin の関係が保たれている点。

### 実績・得られた効果等

樹木が枯死した個所へサクラを補植したことで、将来的には花見や鑑賞が行われ、賑わいの創出が期待できる。

また、当年度に新設されたクロスカントリーコースの利用を、陸上競技だけでなく各種スポーツ少年団や陸上競技指導者に周知することができた。



## No.39 ESD環境プログラム

### 活動団体

羅臼町

### 活動の概要

羅臼町では、ESD・SDGsに基づいて幼小中高一貫の地域学習「知床学」（具体的には野生ヒグマとの共存を図る「ヒグマ学習」と知床の物質循環を学ぶ「生態系学習」が中心）を施策の中心に位置づけているが、羅臼高校では、河川や海の水質、海岸漂着ゴミの回収と分析、さらには地域の産業の発展という課題探求活動を展開している。

また、東京大学の海洋教育サミット、長崎県対馬市における対馬学フォーラムなどでの発表を通して情報発信と他地域との交流にも取り組んでいる。



### 本事例の優れているポイント

幼小中校一貫の取組として「知床学」を通じた環境教育に町全体で取り組んでいる点。

### 実績・得られた効果等

高校生のみならず羅臼町の子どもたちがふるさとに誇りを持ち、知床の環境を持続可能なものとして将来の世代に引き継いでいくことを考えるようになった。

## No.40 北海道 e-水プロジェクト

### 活動団体

北海道コカ・コーラボトリング（株）、北海道、（公財）北海道環境財団

### 活動の概要

北海道内の水環境保全活動を行う団体を支援するため、北海道コカ・コーラボトリング（株）が販売するコーヒー「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」の売上からの寄付を原資として水辺において水質浄化、環境学習会や研修会、水源の森づくり、在来種の回復、外来種の駆除などの環境保全に取り組む団体等の活動について助成制度を運用。

この助成制度によりそれぞれの地域や流域で観察会や川辺のクリーン作戦など、水環境保全活動が実施されている。



### 本事例の優れているポイント

企業、行政、市民団体が本助成プロジェクトを通じて、水環境の保全に取り組むとともに、毎年、関係者が一同に会して取組事例などの情報共有を図っており、関係団体の横の連携を重視し活動している点。

### 実績・得られた効果等

各地で市民による自発的な水環境保全活動が展開されているほか、魚道づくりなど行政による実施に時間がかかる案件に対し、スピード感のある事業実施に結びつけている。本活動は、行政による表彰や河川学術誌から活動についての寄稿の依頼を受けるなど、様々な注目を受けている。

## No.41 地球温暖化ふせぎ隊

### 活動団体

(公財)北海道環境財団

### 活動の概要

身近な生活環境の中で地球温暖化防止活動の取り組みを広げていくことを目指して、学校での出張授業、イベントや施設での環境教室などの環境学習プログラムの作成、実施、普及に向けた活動などをボランティアスタッフと共に実施している。

サッポロドラッグストアなどからの寄付を原資に活動を実施し、夏冬の1日プログラムなどの制作を行っている。



### 本事例の優れているポイント

企業との連携により、身近な生活環境の中での地球温暖化防止活動の取り組みを広げていくことを目指していること。

### 実績・得られた効果等

企業との連携により、予算を持たない希望者に対しても、プログラムの提供ができています。また、毎年リピーターからの希望も多く、本事業による子どもたちの心に届くプログラムによる啓発効果を評価していただいている。

## No.42 コープ未来（あした）の森づくり基金の 環境活動

### 活動団体

コープさっぽろ（コープ未来（あした）の森づくり基金）

### 活動の概要

一人一人の環境への意識が本道の森林保全につながる仕組みを目指し、基金を設立。レジ袋1袋辞退につき0.5円を基金に積立。

- ・11カ所のコープの森で組合員の手で植樹・育樹活動を行っている。
- ・植樹祭経験者「あすもりサポーター」による、「森づくりワークショップ」の企画・実施
- ・あすもりサポーター通信の発行
- ・小学生向け環境教育「どんぐりプロジェクト」を円山動物園にて企画・実施
- ・一般市民向け広報冊子「モリ＊イク」の発行
- ・道と連携企画 木育、食育イベント「モリモリ week」をトドックステーションで実施



森づくりワークショップ



モリモリ week

### 本事例の優れているポイント

企業が仕組みを考え、市民と一緒に森づくりに取り組む継続的な活動である点。

### 実績・得られた効果等

2018年の植樹本数は9,458本、イベント参加人数は2,111人。幼児から、シニアまで幅広い層に、森に触れる機会を作った。

## No.43 浄化槽を活用した水資源循環の学習

### 活動団体

公益社団法人北海道浄化槽協会

### 活動の概要

公益社団法人北海道浄化槽協会が学校から依頼を受け、訪問した学校に浄化槽が設置されている場合はその浄化槽を見学し、採取した微生物を顕微鏡で観察することにより「水処理のしくみ」と、「水を大切に使う工夫」を学習している。



水処理の仕組み



浄化槽見学

### 本事例の優れているポイント

学校の浄化槽を見学し、採取した微生物を顕微鏡で観察することにより「水処理のしくみ」と、「生活上で水を大切に使う工夫」を学習するもので、忘れられがちな水資源の循環などについて貴重な学習機会となっている。

### 実績・得られた効果等

- 4年生の社会科で学習する「水のゆくえ」を、学校に設置された「浄化槽の見学」と「微生物の観察」により、身近な場所で、生活排水処理の仕組みを印象深く学習できる。下水処理場見学の場合、現地への移動等で時間がかかるが、浄化槽学習では学校周辺で、2時間の授業で完結できるのでカリキュラム上のメリットがある。
- 未来を担う子供達が、身近な施設である浄化槽を通して水の大切さを学ぶことにより、生活排水への配慮や水使用の工夫に対する関心の環が子供から大人へ広がっている。
- 身近な地域に、水環境を守る技術を生かした「仕事」があることを認識できる。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.44 エコアクション21導入セミナー

### 活動団体

特定非営利活動法人北海道環境カウンセラー協会

### 活動の概要

環境省が定めた環境管理システムに関する第三者認証・登録制度（エコアクション21）導入を検討している団体へのセミナーの開催



### 本事例の優れているポイント

道内各地域において、環境管理システムを推進する継続的な取組であり、参加企業の増と活動の幅が広がっていくことが期待される点。

### 実績・得られた効果等

道内6会場でセミナーを開催し、22社23名が参加した。  
このうち、1社は道外企業（八戸市）で、3社はISO14001かエコアクション21の認証登録企業だった。

協会事業である環境無料相談に強化月間（7～10月）を設け、フォローアップを希望した1社に個別相談を3回実施。当該1社はその後、エコアクション21の認証登録を得て、産業廃棄物処理業者の優良認定を取得。

また、当該強化月間中にHES（国際規格であるISO14001を基本とし、多くの中小企業や各種団体等、多くの組織が容易に取り組める環境マネジメントシステムとして、北海道商工会議所連合会が中心となって構築した環境規格）登録事業者（名寄市）からHES第3版（ISO14001の規格の変更に伴うもの）への移行相談があり、事務ブースで相談を受けた。

## No.45 一般家庭における「ごみ」の減量及び リサイクル推進への支援の取組

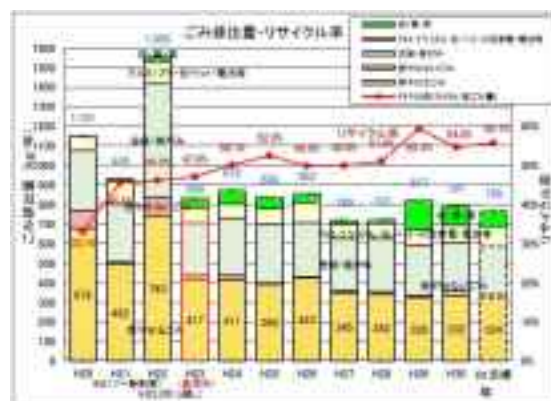
### 活動団体

たか環境コンサルティング

### 活動の概要

コンサルタント事務所として兼用している一般家庭住宅の燃やせるごみ排出量の削減に努めるとともにリサイクル率(古紙、びん・缶・ペット、剪定枝等/ごみ全量)についても向上に努めている。

たか環境コンサルティングでは、ごみの排出に伴う分別・予備処理、監視・測定、結果の統計処理及び評価等を支援。



### 本事例の優れているポイント

・平成20年度から取り組みを開始し、燃やせるごみの量を平成23年比20.6%削減しているとともに結果の統計処理等を行っており、一般家庭での取り組みとして分かりやすい点。

### 実績・得られた効果等

特殊要因による年度ごとの変動はあるが、ごみ問題への意識を保持することにより、長期的にはごみ量の低減、リサイクル率の向上ができています。

平成31年以降も、ゴミステーションの衛生・作業性等の改善、リサイクルコーナーでの不用品の活用、町内会資源回収への協力等、SDGsも意識し地域コミュニティの形成を視野に入れた活動にも踏み込んでいる。



<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.46 ホタル放流事業・ホタルの光観察会

### 活動団体

北海道造園コンサルタント・東洋実業コンソーシアム

### 活動の概要

ホタルの復活再生事業に取り組んできた札幌市内の拓北高校閉校に伴い中断しそうだった当該事業を地元のNPO法人とともに引き継ぎ、ホタルの育成及び放流会・光の観察会を茨戸川緑地で継続して実施している。



### 本事例の優れているポイント

拓北高校閉校に伴い当該視察会を廃止するのではなく、他団体と協働で継続実施し、地元の資源を学ぶ大切な機会を提供している点。

### 実績・得られた効果等

地域の人達に茨戸川緑地を知ってもらえる機会ができ、ホタルが定着してきている事に伴い放流会・観察会以外にも緑地に関心を持って訪れる人が増えてきている。



## No.47 市民参加型フォーラムの開催

### 活動団体

NPO法人北海道市民環境ネットワーク

### 活動の概要

- ・北海道の自然環境保全活動に取り組む市民、環境市民活動とのパートナーシップを目指す企業や行政機関、団体への情報発信と交流・ディスカッションの場として開催。
- ・北海道の環境活動者だけでなく、学生、さらに一般市民に、北海道の環境課題を伝え、広め、さらに専門家のもつ知見を届けることで、道民が一体感をもって環境保全の課題解決をはかる。北海道の環境活動のレベルアップに貢献する。



### 本事例の優れているポイント

身近でかつ今後道内各地で頻発すると考えられる環境に関する課題について、市民自らがディスカッション等を通して環境問題への意識を高めようとする取組である点。

### 実績・得られた効果等

きたネットフォーラム 2018 では「都市のクマとヒト」というテーマで、200 名近い参加者、ゲストが参加した。市街地にヒグマが頻繁に出没している現状をふまえ、人が居住する地域にヒグマが生息するという、世界に類のない状況をもたらすリスクをどう管理して安全を担保していくのか、共生のランドデザインを考えた。分科会 A 生物多様性「札幌市民はヒグマとどう付き合っていくのか？」では、野幌森林公園や札幌の住宅街にヒグマが出没した場合を想定した情報交換を行った。これは翌年現実となり、参加者に事前の知識、万が一の際の対応方法などを提供することができた。また分科会 B 森林保全「市民による森づくりの成果と課題、森林関連団体の今、これから」、分科会 C 環境教育「市民活動・環境教育を SDGs 的思考で、さらに広いネットワークに」では、参加者それぞれの活動分野での知見とネットワークを広げることができた。

## No.48 ラブアース・クリーンアップ in 北海道

### 活動団体

NPO法人北海道市民環境ネットワーク

### 活動の概要

「私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にしよう」というスローガンのもと、道民の環境意識の向上を図り、北海道の豊かな自然環境を守るため、北海道内各地で実施される「ごみ拾い活動」を集約して、情報発信している。



### 本事例の優れているポイント

単なる一団体のゴミ拾いではなく、ごみ拾いに関する全道的な情報発信を行っている点。

### 実績・得られた効果等

・ごみ拾いイベントで「ごみを拾う」活動は、「ごみを捨てない」という気持ちにつながり、環境保全意識が向上する。環境教育として、ごみ問題への気付きと実践の機会を提供し、更にステップアップした環境活動に結びつけている。

毎年実施している石狩浜でのごみ拾い活動でも、不法投棄や海のプラスチックのごみ問題について学ぶきっかけになっている。

・HP 上に全道のごみ広い活動の実施地域をポイントで落としこみ、北海道民の環境保全の取り組みを紹介することで、「環境を守る市民力」をアピールしている。参加者の環境保全・地域貢献の意識の向上につなげ、また、地域の取り組みに関心をもつことで地域活動の活性化にもつながっている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
平成30年度 環境教育等優良事例

## No.49 空中写真を使った環境の変化に関する授業

活動団体

江別市

活動の概要

過去から現在にかけて市全域を捉えた3つの時代（1947年、1976年、2016年）の空中写真を体育館等で展開して環境の変化を視覚的に捉える授業を実施。

授業は酪農学園大学の学生が担当し、大学生の環境教育実践の場としても活用している。



本事例の優れているポイント

講師は酪農学園大学の学生が務め、空中写真を使うという、視覚的にも分かりやすい大変ユニークな授業である。

実績・得られた効果等

児童が、「川の流れや幅が広がっていった」「森林公園の広さが昔と今で変わっていた」など、この授業を通じて身近な環境の変化を発見している。

また、この授業を通じて、大学生が環境教育を実践する経験が得られている。

## No.50 緑の少年団活動

### 活動団体

恵庭市立松恵小学校

### 活動の概要

- 遠足目的地、帰路のゴミ拾い（全校生徒）
- 緑の募金活動（5・6年）
- 川の環境保全活動、ゴミ拾い（全校生徒）
- 赤い羽根募金活動（全校生徒）
- 林間学校、森林学習（全校生徒） 等



### 本事例の優れているポイント

- ほとんどの活動を全校生徒が行っており、学年が進むにつれて、より深い学びができる点。

### 実績・得られた効果等

様々な活動を通して環境に関する意識が醸成されるとともに、ゴミ拾いや植樹、募金活動により、源左だけでなく将来の環境保全に向けた効果が得られている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.51 川の学習・稚魚の放流

### 活動団体

恵庭市内中学校

### 活動の概要

総合的な学習の時間等を用い、学校周辺の河川の環境・生態系等を調べる授業を実施している。

また、地元商工会議所の協賛により、各校にてサケの稚魚を飼育し、4月に放流式を開催するとともに、一部学校ではヤマメの稚魚を飼育、6月頃に放流を行っている。



### 本事例の優れているポイント

市内の全中学校において、統一されたテーマに沿って実施される教育課程は注目に値するとともに、将来の「自分たちの住むまちづくり」への意識に大きくつながると考えられる点。

### 実績・得られた効果等

未来の環境を担う子ども世代が、河川環境や生態系を学び、実際に触れ合うことで環境美化・保全の意識が醸成されている。

## No.52 牛乳パックの回収等

### 活動団体

伊達市立関内小学校

### 活動の概要

- ①牛乳パックを回収し、古紙回収業者に販売。
- ②「エコ川柳」に取り組み、身近なことからできる「節電」「節水」などを意識した取組を行っている。（4年生以上の学年）
- ③古新聞、段ボール等の古紙を回収することでごみを縮減している。
- ④「ふおれすと鉱山」での自然体験学習、学校農園での栽培学習など
- ⑤伊達市主催の「星空観察会」への参加（希望者）
- ⑥校外学習（総合的な学習の時間）で自然観察や動植物の調べ学習を行っている。（高学年）



### 本事例の優れているポイント

総合的な学習の時間に様々な体験・実践を通じた環境教育を行っている点。

### 実績・得られた効果等

- ・身近な環境問題を自分ごととして考え、実践する力の育成
- ・集団生活を通して、自主的主体的な態度や、お互いを思いやり協力する態度の育成
- ・郷土を大切に思う心の育成
- ・自他の生命を大切にする心の育成  
などが育まれている。

## No.53 リサイクル資源の回収

活動団体

新冠町

活動の概要

環境保全及びごみの減量化を目的として、回収品目、回収量に応じて、町奨励金を交付し活動支援している。通年活動、活動団体18団体、事業者2社。

本事例の優れているポイント

継続した取組や意欲増進を図るため、町で奨励金を交付し団体活動等を支援している点。

実績・得られた効果等

奨励金によりリサイクル活動の意欲向上と貴重な団体活動資金の一部として活用されている。そのため、継続した取組として、毎年リサイクル活動に多くの方に参加していただいている。

資源リサイクル活動を通じ、環境保全、ごみの減量化、不法投棄、ポイ捨てごみ等について考える機会となっており、環境保全活動への貢献精神の育成にも繋がっていると思われる。

## No.54 「判官館森林公園の草花」学習と観察

### 活動団体

新冠小学校

### 活動の概要

新冠小学校3年生の総合的な学習の時間で、判官館森林公園の草花を学び、ふるさとの自然を知るとともに、大切にすることを目的とする。郷土資料館の学芸員を指導に迎え、各種活動を進める。

- ・事前学習：判官館森林公園の草花を知る。
- ・フィールドワーク：実際に観察し、事前学習で学んだ草花を確認する。



### 本事例の優れているポイント

総合的な学習の時間に様々な体験・実践を通じた環境教育を行っている点。

### 実績・得られた効果等

郷土資料館と学校が連携し、判官館森林公園に生育する草花について学んでいる。事前に学芸員による説明を行ってから、フィールドワークで観察したので学習理解を深めることができる。自分たちが住む町に、多くの貴重な植物があることを体感でき、学習を通じ、ふるさとの自然環境を大切にすることを期待している。



## No.55 はこだてエコフェスタ2018

### 活動団体

- 環境フェスティバル実行委員会
- 函館市
- 北海道渡島総合振興局

### 活動の概要

「循環型社会」を構築するために、“もったいない”という考え方を大切に、ごみを減らし（リデュース）、繰り返し使い（リユース）、資源の再生利用（リサイクル）の3Rの取組を進めていくことや、地球温暖化による異常気象などの様々な環境問題に対し、幅広い年齢層に関心を持ってもらい、次の世代へより良い環境を引き継ぐことを目的に環境教育を実施している。



### 本事例の優れているポイント

関心をもってもらうために、環境に関する様々なブース出展により、多方面から環境問題への理解を深めていることに加え、多くの主体が連携して行っている点。

### 実績・得られた効果等

ステージ上の催し物が目的で来場したが、エコに関するイベントだったことから、エコに関心がない方が関心を持つようになった。

## No.56 天売島の海鳥保護を目的としたノラネコ 対策促進のための協働取組

活動団体

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

活動の概要

- ・ノラネコ対策の考え方の周知と、対策についての島民の考え方の意見聴取
- ・島内の関係者等との議論の場の設置と、合意形成の実施
- ・天売島の猫問題を題材にした環境教育プログラムの作成と実施
- ・島民と天売猫に関わる人たちの交流・意見交換を行うための島内でのイベント実施
- ・観光振興に向けた交流機会の創出



本事例の優れているポイント

海鳥の保護とノラネコ対策を進めるにあたって、NPO や島民とが合意形成を図り、地域の切実な課題を環境教育プログラムに取り入れている点。

実績・得られた効果等

- ・NPO や島民の理解や協力を得られたことで取組が進み、問題の解決に近付いている。
- ・取組が進んだことで海鳥の繁殖地が回復し、海鳥の個体数が増加している。
- ・地域の観光資源でもある海鳥の保護が進んだことで、観光面においても良い効果が出ている。
- ・環境教育プログラムの実施や取組の周知などにより、猫の適正飼養への理解が広がっている。

## No.57 幌延小学校クリーン作戦 幌延中学校クリーン作戦

### 活動団体

幌延町立幌延小・中学校

### 活動の概要

町内の清掃活動を実施することで、自分たちが住んでいる町をきれいにしようという意識を高め、積極的にボランティア活動に取り組む態度を育てている。

小中の連携を図り、環境保全活動について学校間の交流を行っている。



### 本事例の優れているポイント

町内の小中学校が連携した異学年交流として他の模範となる取組である点。

### 実績・得られた効果等

町内の環境美化及び町をきれいにしようという意識が向上している。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.58 自然環境教育推進事業

### 活動団体

上士幌町立上士幌小学校、上士幌町立糠平小学校

### 活動の概要

総合的な学習の一環として、ひがし大雪自然ガイドセンターに「自然環境教育」を委託し、小・中学生を対象に山菜ハイク、笹茶づくり、自然の宝探し、川の生き物探し、巣箱づくり、葉っぱのスタンプづくり、はだし歩き、森づくり遠足、十勝石探し、リバーハイキング、イワナの解剖、ニジマス釣り、落ち葉のステンドグラスづくり、廃線ハイク、ワカサギ釣り体験、森の香水づくりなどの事業を行った。



### 本事例の優れているポイント

地域の NPO のスキルを活用した自然体験教育の手本として、他の地域でも同様の活用が期待できる点。

### 実績・得られた効果等

「ひがし大雪自然ガイドセンター」の協力により、大雪山国立公園の豊かな環境のもと、様々な自然体験活動を通じて自然の中での楽しみや素晴らしさ、厳しさ・もろさなどを感じる活動を行っている。子どもたちの発達段階に合わせて、1年生から6年生の全ての学年で行うため、切れ目無く経験を重ねていくことができる。子どもたちはこのような活動を通して、ふるさとの豊かな自然に気付きながら五感を磨いていた。また、人間と自然環境との関係性にも目を向け、自らの行動や環境を考える良いきっかけとなっている。

<北海道環境教育等推進懇談会選定>  
令和2年度 環境教育等優良事例

## No.59 浜中町学校版環境ISO

### 活動団体

浜中町、町内各学校

### 活動の概要

学校が環境教育及び道徳教育などの教育活動全体をとおして、児童・生徒及び教職員の環境配慮意識向上を図り、もって環境にやさしい学校づくりに努めることを目的とした制度。活動内容を町職員が審査し、環境にやさしい取り組みを実施していると認められた場合に、町から学校に認定証が贈られる。町内にある10校のうち7校が認定されている。



### 本事例の優れているポイント

学校版環境ISOは全国的にもめずらしく、町からの認証制度もあり、児童・生徒の環境配慮意識の向上が期待できる点。

### 実績・得られた効果等

児童・生徒及び教職員への環境配慮の意識向上が図られている。  
児童・生徒については、ごみの分別、節水、節電、暖房費節約のためのドアの開け閉めなど、日々の学校生活での行動として各学校で強く根付いている。

※本事例集は、北海道環境教育等推進懇談会委員から選定いただき、北海道環境生活部環境局環境政策課が取りまとめました。